

## 平成 25 年度までの各部局の取組状況について

平成 26 年 3 月 31 日現在

## 1 職員の派遣・出向

職 種	人 数	備 考
県職員	586	派遣期間は長短あり
警察官	1,736	
合計	2,322 名	

(参考)

職 種	人 数	備 考
市町職員	730	
消防職員	346	
合計	1,076 名	

## 2 被災地支援

## 【防災対策部】

- 「救援物資対策窓口」の開設（23年3月18日）
- 応急仮設住宅における生活支援の実施（宮城県多賀城市内の6地区の応急仮設住宅に生活支援としてファンヒーター373個を提供）（23年11月16日）
- 学校給食用食材の支援（宮城県沿岸の小中学校に学校給食用食材として南伊勢町産みかん約5,600個を提供）（23年11月16日～12月21日）
- 県民から受け付けた支援物資の被災地への搬出終了（搬出数15,323箱）（23年12月22日）
- 第63回三重県消防大会と政府主催の東日本大震災一周年追悼式の会場を映像接続（24年3月11日）
- 津市河芸総合支所の旧町議事堂机・椅子の寄付申し出について、宮城県内市町村へ照会（24年4月11日）
- 一般からの詩集の無償配布の申し出について、河北新報社へ記事登載依頼（24年5月23日紙面掲載）
- 津市福祉施設から大槌町への寄附の仲介（米360kg及び千羽鶴）（24年10月4日）
- 東日本大震災二周年追悼式を県庁講堂にて実施（25年3月11日）
- 久慈市水族館「もぐらんぴあ まちなか水族館」の復興を支援（26年2月～3月）
  - ・冷凍庫・フルフェイスマスク等を支援した。
  - ・県内水族館に働きかけ、魚類（26年度後半の新「もぐらんぴあ」完成時）や書籍（冷凍庫等と同時期）を支援いただけることになった。
- 東日本大震災三周年追悼式を県庁講堂で実施（26年3月11日）

## 【健康福祉部】

- 共同募金会、日本赤十字社の募金箱を県本庁舎及び各総合庁舎に設置（23年度～）
  - ・23年度分 1,209,512円 24年度分 117,938円、25年度分 115,059円
- 県民の方から同意をいただいた義援金を、「東日本みやぎこども育英募金」に寄付（23年度～）
  - ・23年度 6件 1,084,057円、24年度分 3件 332,739円、25年度分 1件 196,563円

(23年度)

  - NPO法人全日本総合武道連盟 271,000円
  - 東日本大震災復興祈願チャリティコンサート 101,209円
  - 特定非営利活動法人 日本徒手空拳道連盟 309,000円
  - 東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村実行委員会委員長 70,270円
  - SARA SPORTS 80,000円
  - 日本をちょっと元気にするプロジェクト代表 252,578円

(24年度)

  - 東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村実行委員会 2件計 261,239円
  - 三學講堂（台湾のお寺）71,500円

(25年度)

  - 東日本大震災チャリティイベント in 伊勢安土桃山文化村実行委員会 196,563円

## 【環境生活部】

- 岩手県陸前高田市内中学校で津波被害を受けた美術品4点を受け入れ、修復（23年11月～24年11月）
- 第18回三重県全国俳句募集事業（24年度）の特別企画「東北応援の一句」を、県ホームページ「三重の文化」で公開（25年6月）、入選作品等を他の作品とともに部門の句集として取りまとめ、東北地方の図書館等に寄贈（25年8月）
- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動
  - ・ボランティア活動支援金の募集（23年4月5日～25年9月30日 計11,786,408円）
  - ・ボランティアバス「みえ発！ボラパック」の実施（23年4月28日～11月19日 36便 計648名）
  - ・ボランティアバス「みえ発！ボラパックⅡ」の実施（23年11月5日～11月12日 1便 7名、24年4月13日～25年3月31日 27便 計460名、25年4月26日～9月17日 8便 計175名）
  - ・「山田町ではってマップ」第1号～6号の配布（23年12月28日～）
- 文化財レスキュー等のニーズがあり次第対応（対応実績なし）
- 災害廃棄物の広域処理
  - ・県、市長会、町村会の三者で災害廃棄物（がれき）の広域処理に関する合意書、覚書の締結（24年4月20日）、宮城県、岩手県と確認書を締結（24年4月27日）
  - ・災害廃棄物処理ガイドラインを策定・公表（24年6月7日）、三重中央開発(株)に災害廃棄物焼却灰の受け入れを要請（24年7月13日）
  - ・環境省から、岩手県久慈市の可燃物2,000トンの処理の要請（24年8月7日）
  - ・受入検討市町等との共同で住民説明（24年7月～25年1月）、住民現地視察を実施（24年9月25日）

- ・風評被害専用相談窓口、三重県災害廃棄物広域処理連絡会議の設置（24年8月）、消費団体等に対する協力依頼（24年9月）、リーフレットの作成（24年9月、25年1月）、パネル展の開催（24年10月～25年1月）、各種メディア（ラジオ、テレビ、県広報、新聞）での周知等、災害廃棄物広域処理に関する風評被害対策の実施
- ・環境省から通知があり、久慈市の広域処理対象廃棄物は秋田県での早期処理に目途がついたことから、三重県の広域処理が必要なくなったことについて発表（25年1月25日）
- 久慈市の物品を対象とした物産展の開催（24年11月～25年2月、3カ所）
- 久慈市の被災・復興状況、三重県の支援状況と併せて久慈市の観光についてのパネル展示の実施（25年2月～3月、7カ所）
- 復興支援パネル展（久慈市）の実施（復興状況、地域の紹介・PRなど）（25年4月～26年3月、23カ所で実施）
- 災害廃棄物処理のため、岩手県久慈市に放射線測定器1台を無償貸与（～26年1月）

### 【農林水産部】

- 仙台空港の屋外花壇に三重県産の花壇苗・サツキ苗の提供と植栽支援（23年7月20日、9月10日）
- 三重県漁船の東北地方の漁港への寄航促進（東北地方への水揚げ寄航を行う三重県漁船を支援し東北地方の水産業復興につなげる）（23年度）
- 農林漁業就業・就職フェアにおいて東日本大震災被災者のための個別相談コーナーを設置（23年7月9日、24年2月4日、24年7月14日）
- 東北地方の観光パンフレットの配付及び物産販売（23年4月～24年3月 延べ17回開催）
- 県内百貨店との連携による東北物産販売を支援（23年9月、24年9月、25年9月）
- 「みえ森林フェスタ」等で東北応援コーナーを設置し、宮城県の物産を販売（25年5月、10月）
- 岩手県久慈市と三重県内のグリーン・ツーリズム実践者等の相互交流を実施（25年10月～12月）
  - ・久慈市の実践者等を10月22日・23日に開催した「第2回三重県グリーン・ツーリズムネットワーク大会」に招待し、県内の取組を体験してもらうとともに情報交換等を実施。
  - ・三重県内の実践者が12月18日・19日に久慈市を訪問し、久慈市での実施取組の体験及び調査を通じた交流等を実施。

### 【雇用経済部】

- 被災企業等の操業支援窓口の設置（23年3月30日～）
- 被災企業の事業継続への支援（23年7月8日～）
- 「東日本大震災チャリティーイベント in 伊勢安土桃山文化村」で被災地への募金活動を支援（24年5月19日、11月23日、25年7月20日、12月1日）
- 「第一回全国やきものフェア in みやぎ」への三重県ブース出展と出展事業者による寄付金（24年8月18日から22日、参加県内事業者10者、計202,576円）
- 「リーディング産業展みえ2013」において「災害復興支援コーナー(ブース)」を設け、東北3県（岩手県、宮城県、福島県）の特産品販売と、久慈市の観光PRを実施（25年2月13、14日、売上計288,900円）
- 「ワクワク！うまし発見フェスタ～みえの地域づくり大集合～」で、久慈市の観光PRを実施（25年3月2日、来場者数約3,700人）
- 「第7回美し国三重市町対抗駅伝」（26年2月）市町交流市場（物産展）で、久慈市による海女等の観光PR及び久慈まめぶ汁等の物産販売を実施

- 海女文化シンポジウムにおいて、久慈市の観光展示を実施（26年3月）
- 「リーディング産業展みえ」で東日本復興支援ブースを設置し、東北3県の特産品を販売（25年11月7～8日、売上274,000円）
- 被災企業等の操業支援窓口を設置（通年）
- 被災企業の事業継続への支援（通年）
- 東北地方の観光パンフレットを配布（通年）

#### 【教育委員会】

- 気仙沼市及び南三陸町へスクールカウンセラーを派遣（23年5月～、73人）
- 中学生ボランティアを宮城県及び岩手県に派遣（24年8月）
- 宮城県の中学生を招待し、「子ども防災サミット in みえ」を鳥羽市及び志摩市で開催（24年8月）
- 高校生2名を「ハイスクールサミット in 東北」（宮城県）に派遣（24年8月）
- 平成25年「県民の日」記念事業で東北応援コーナーを設置し、物産販売を支援（25年4月）
- 久慈市及び山田町との交流と支援、ボランティア研修に高校生及び教職員等を派遣（25年8月）
- 学校防災交流事業で、中学生及び教職員等が宮城県を訪問（25年8月）
- 高校生2名を「ハイスクールサミット in 東北」（宮城県）に派遣（25年8月）

#### 【企業庁】

- 経済産業省の要請により、工業用水道施設の応急復旧支援に宮城県企業局へ土木技術職員を2名派遣（23年3月22日～23年3月28日）
- 日本水道協会中部地方支部災害時相互応援協定に基づく協力要請により、被災地の応急給水活動支援に宮城県へ職員・車輛を派遣（土木技術職員4名、給水タンク1.5t搭載トラック1台、資機材運搬車1台、期間：23年3月26日～23年3月29日）
- 経済産業省の要請により、工業用水道施設の応急復旧支援に宮城県企業局へ土木技術職員を2名派遣（23年4月8日～23年4月15日）
- 宮城県へ水道事業体の災害復旧現地調査に係る指導・調査等の支援のため電気技術職員の派遣[長期]（24年10月1日～25年3月31日 1名〈3ヶ月交代 延べ2名〉）

#### 【警察本部】

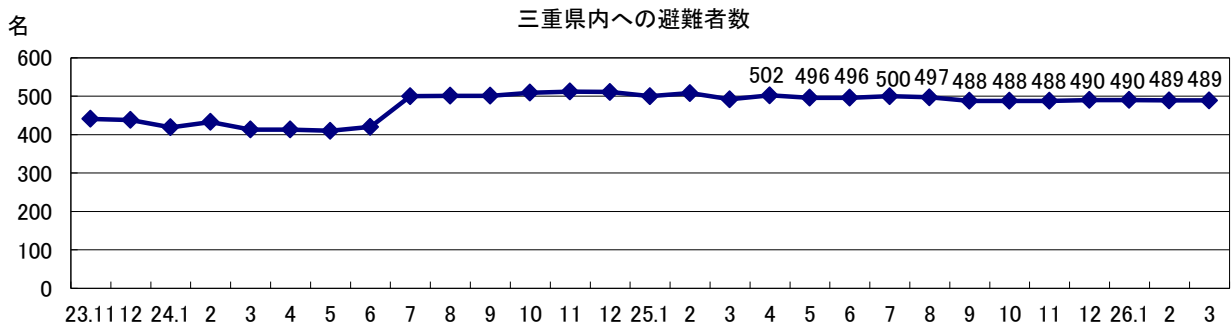
- 地震発生当日から26年3月末までに、岩手、宮城及び福島の3県に1,736人の職員を派遣等し、救出救助、行方不明者の捜索、交通整理、検視、パトロール、検問等に当たった。

### 3 県内避難者支援

#### 【全体的事項】

○ 避難者数（平成26年3月31日現在）

岩手県 116名 宮城県 54名 福島県 219名 茨城県 63名 千葉県 14名  
 栃木県 15名 埼玉県 5名 神奈川県 3名 計 489名 (170世帯)



	岩手県	宮城県	福島県	茨城県	その他	合計
四日市市	112名	17名	45名	54名	18名	246名 (68世帯)
津市	0名	4名	53名	0名	6名	63名 (23世帯)
鈴鹿市	2名	15名	31名	0名	0名	48名 (20世帯)
その他市町	2名	18名	90名	9名	13名	132名 (59世帯)
合計	116名	54名	219名	63名	37名	489名 (170世帯)

#### 【防災対策部】

- 発災以降、「三重県被災地住民住宅・一時的滞在場所情報提供窓口」を設置し、民間も含め避難者に提供できる住宅等に関する情報の収集と発信、相談の受け付け、あっせん等を実施し、円滑に手続きが進むようサポート（通年）
- 県ホームページ「東日本大震災に伴う支援に関する情報」の更新管理（通年）
- 避難者に対して、避難元自治体からのお知らせ、県やボランティア団体からの連絡事項などを情報提供できる体制を整えるとともに、ボランティア団体と連携し、避難者同士のネットワーク構築を推進（通年）
- 県内避難者からの相談（通年）
  - <24年度> 22件
  - <25年度> 14件
  - 4月3件 借上げ住宅の供与期間相談 1件 社宅の滞在切れ相談 1件 転居相談 1件
  - 5月1件 自主避難者の県営住宅入居相談 1件
  - 7月2件 家族が増えたため転居相談 1件 県職員住宅の供与期間相談 1件
  - 9月3件 雇用促進住宅の入居期限 1件 来年度の講演会の計画について 1件
  - 中学生からの質問（県の取組について） 1件
  - 11月1件 避難者と住宅提供者とのトラブルについて 1件
  - 12月2件 被災地で額縁の展示相談 1件 千葉県でのホットスポットの存在について 1件
  - 1月2件 転職のため転居相談 1件 県内避難者の交流場所について 1件

- 県内避難者のための「支援の集い」開催（24年3月18日 じばさん三重）
- NPO「ハハプロジェクト」開催の避難者支援行事への知事出席（24年4月15日）
- 被災県、みえ災害ボランティア支援センター、ボランティア団体等からのお知らせを、市町を通じて避難者へ配布（通年）
  - <24年度> 30件
  - <25年度> 31件
    - ・宮城県 11件（毎月）
    - ・福島県 10件（毎月）
    - ・県内避難者支援団体 4件（みえ災害ボランティア支援センター、防災一座、ふくしまいせしまの会）
    - ・その他 5件（司法書士会、弁護士会、新聞社）
    - ・三重県 1件
- 県内被災者支援団体「みえ災害ボランティア支援センター」とのアンケート調査打合せ（25年10～11月）
- 東日本大震災避難者のための無料法律相談会を開催（26年2月）

#### 【総務部】

- 職員公舎の提供 23年度 3戸（3名） 24年度 3戸（3名） 25年度 2戸（2名）

#### 【健康福祉部】

- 災害救助法に基づく被災県からの応援要請に応じ、市町等との連絡調整、避難者への住宅の提供等を実施（23年度～）
  - ・被災者への住宅の提供 23年度2戸（5名）24年度5戸（17名）25年度4戸（16名）
- 被災地からの避難者向けに、ホームページで福祉関連情報を提供（23年度～）
- 県内への避難者に対し、心のケアに関する相談窓口について市町を通じて周知（24年5月8日）

#### 【環境生活部】

- 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動
  - ・県内避難者支援「みえで仲間をつくり隊」を開催（24年5月20日、10月20日、11月17日、25年3月10日、5月19日、8月25日、11月4日）
  - ・みえ東日本大震災支援団体連絡会「つながろう三重」連絡会を開催（24年5月14日、7月19日、9月13日、12月12日、25年1月15日）
  - ・みえ東日本大震災支援団体連絡会「つながろう三重」勉強会を開催（24年5月23日）
  - ・「コープみえ くらしたすけあいの会」と協働で、生活支援事業を実施（24年7月1日～25年1月31日、25年5月1日～9月30日）
- 県立図書館における被災地の地元紙の提供
  - ・「東北を知ろう、東北へ行こう！」キャンペーンの取組の一つとして、「岩手日報」「河北新報」「福島民報」を提供（23年7月～9月）
  - ・福島県の協力により、「福島民報」「福島民友」を提供（25年4月～）
- 被災地から三重県への避難者児童生徒及び保護者に美術館観覧券を提供（23年7月～24年3月）

### 【雇用経済部】

- 宿泊施設における被災者の受入れ体制の整備
- 雇用促進住宅の入居支援 23年度 10戸 (27名) 24年度 12戸 (26名) 25年度 10戸 (20名)

### 【地域連携部】

- 全国避難者情報システムの運用 (県内で 341名が登録)

### 【農林水産部】

- 被災した農業者の受入定着を支援、県内に避難・移住された農業経営者等への営農サポート(通年)

### 【県土整備部】

- 東日本大震災で被災等された方を対象として一時的な居住の確保のため、県営住宅を提供 (23年度～)
  - ・対象者は、東日本大震災で被災した者及び福島第一原子力発電所事故により帰宅困難な者
  - ・平成23年度からの新規受入状況 (23年度 24戸 (82名) 24年度 1戸 (3名) 25年度 0戸) 受入れ合計 25戸 85名
  - ・26年3月末現在の入居状況 4戸 12名
- 被災者を対象に、鈴鹿青少年の森において炊飯場の利用料金を免除 (通年) 利用実績なし

### 【企業庁】

- 企業庁職員住宅の提供可能数をホームページに掲載 (23年3月22日 単身用～大台町内5戸・紀北町内6戸、世帯用～四日市市内5戸・大台町内3戸) (単身用～紀北町内6戸及び世帯用～大台町内3戸については、25年3月31日まで)

### 【教育委員会】

- 被災児童生徒等の小中学校等への転入を支援 (通年)
- 被災地域の高等学校等の生徒で、保護者等の転居、親族家族への避難等により本県の県立高等学校等への転入学を希望する者に柔軟に対応 (通年)
- 被災者を対象に、三重県立青少年教育施設 (鈴鹿青少年センター・熊野少年自然の家) の宿泊料金及び施設利用料金等を免除 (通年)
- 職員住宅の提供 23年度 0戸 (0名) 24年度 0戸 (0名) 25年度 0戸 (0名)

## 4 その他

### 【防災対策部】

- 東日本大震災支援フォーラム三重 (24年3月11日 生涯学習センター みえボランティア支援センターと共催)
- 東日本大震災支援活動報告会開催 (24年3月21日 水産会館)
- 県民からの支援物資について、被災地へ搬出するまでの集積保管場所として自社倉庫を無償で提供いただいた日本トランスシティ株式会社に対し、感謝状を贈呈 (24年4月12日)
- 震災により被害を受けた子どもたちによる書道作品の展示 (24年6月22日～28日 県民ホール)
- 宮城県南三陸町長 知事訪問 (24年8月6日)
- 「うつくしま復興大使」知事訪問 (24年12月26日)
- 「みえの現場・すごいやんかトーク」において、東日本大震災の支援活動に取り組んでいる方との意見交換 (25年1月20日)
- 「全国タスキリレーIN 三重」全国学生プロジェクト(JASP)三重支部の知事表敬訪問 (25年2月19日)
- 「東日本大震災被災地支援について」FM三重放送に知事出演 (25年3月11日)

### 【戦略企画部】

- 宮城県との広報紙紙面交換による交流促進  
「みやぎ県政だより9・10月号」に、三重県からの応援メッセージと観光情報を掲載  
「県政だよりみえ9月号」に、被災地への支援に対するお礼のメッセージを掲載

### 【健康福祉部】

- 県内4カ所の空間放射線量率測定結果、及び水道水・降下物(大気中の雨水やちり等)の人工放射性物質の測定結果について、ホームページで情報を提供(23年度～)
- 県内に流通する食品の放射性物質検査を実施(24年度60検体、25年度60検体、食品衛生法に基づく規格基準値を超えるものなし)
- 保育所の給食一食全体について、放射性物質の有無や量の事後検査を実施する市町に対し、補助を実施(24年度13市町、25年度9市町へ補助)

### 【環境生活部】

- 県立図書館で、被災地からゲストを招いてトークライブを開催(23年10月、24年9月ほか)
- 県立図書館および市町立図書館等で、東北地方の歴史や文化の紹介、災害ボランティアに関する情報提供、観光パンフレットの提供などを行う「東北を知ろう、東北へ行こう!」と題したキャンペーンを23年度から3年続けて実施
- 県立図書館および市町立図書館等で、写真展「大槌町/2011夏・2012冬」「リメンバー大槌」等を開催(24年3～6月、25年6～7月)
- みえ災害ボランティア支援センター東日本支援活動報告会の開催 (25年3月17日)  
「三重からみつめた東日本大震災～被災地・被災者・避難者の2年、そして今～」
- 災害ボランティアシンポジウム (25年12月7日)  
「311を忘れないために～これからの三重で取り組むこと～」



## 【農林水産部】

### <県内水産業への対応>

- へい死魚類や被災ノリ網等の収集・運搬・撤去等沿岸漁場環境回復のための支援（23年度）
- 津波被害を受けた養殖施設、共同利用施設及び定置網等の復旧のための支援（23・24年度）
- 県内でのカキ種苗供給体制の確立のための対策、種苗等の購入に必要な資金供給等稚魚・稚ガキの確保対策（23年度）
- 津波被害を受けた県内漁業者の経営再建のための資金融資（23年度）
- 過去の債務の借換促進、災害に強い新たな養殖生産体制の構築、販路拡大等の再生意欲の醸成のための支援（23・24年度）
- 東日本大震災に係る津波により被害を受けた県内水産業を支援するため三重の水産業復興応援フェア開催（24年3月24日）

### <被災地の復旧復興のPR>

- ・ 三重県総合文化センターにおいて「みやぎの農業農村復旧復興セミナー」を宮城県と共催で実施（25年8月23日）
- ・ 県庁県民ホールにおいて宮城県・岩手県の農業農村の復旧復興を県庁県民ホールでパネル展示（宮城県展示 25年8月19日～23日、岩手県展示 25年9月17日～20日）

## 【雇用経済部】

### <県内産業への対応>

#### ◆中小企業への対応

- 工業製品に関する残留放射能測定の実施（通年）

#### ◆観光業への対応

- 震災で落ち込んだ県内への観光誘客を促進するための大都市圏の主要駅等での観光情報発信（通年）
- 海外誘客のためのICTを活用した情報発信（通年）

## 【企業庁】

- 宮城県松島町長が松島町への応急給水活動支援に対する感謝の意を表明するため、企業庁長を訪問（24年7月25日）

## 【教育委員会】

- 学校給食一食全体について放射性物質の有無や量の事後検査を実施（24年9月10日～25年2月28日）